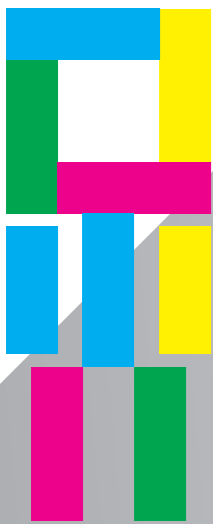


特別展 跳躍するつくり手たち

人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー

京都市京セラ美術館
Kyoto City KYOCERA Museum of Art

2023.3.9 THU → 6.4 SUN 京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ
Higashiyama Cube, Kyoto City KYOCERA Museum of Art
[SPECIAL EXHIBITION] Visionaries: Making Another Perspective



環境への意識の高まりやテクノロジーの進化など、社会のあり方が大きく変化する現代、人間こそがなすことの重要性が問い直されています。本展では、企画・監修者にデザインを軸として思索を重ねてきた川上典李子氏を迎え、人間や地球の歴史を意識しながら、柔軟な発想でめざましい活動を展開する日本のアート、デザイン分野の気鋭の20作家（個人・チーム）を取り上げます。

過去と未来、自然と人工、情報環境と実社会など多様な関係性を軽やかにつないで再解釈する、1970年代、1980年代生まれを中心とした彼らの作品や活動から、激動の時代に求められる「創造へ向かう跳躍するエネルギー」が鮮やかに浮かび上がることでしょう。

In an age of drastic social change defined by increased environmental awareness and technological advancements, the importance of what humans can do is being reexamined. Curated and supervised by Kawakami Noriko, who has been contemplating design at the core of her practice, this exhibition features twenty up-and-coming artists (individuals and collectives) working in art and design who are developing remarkable activities in Japan through flexible approaches that are attentive to the history of humans and the earth.

The "boundless energy toward creation" emitted from the work and activities of these artists who, born mainly in the 1970s and 1980s, deftly connect and reinterpret diverse relationships between the past and future, nature and artifice, and the information environment and real society, will vividly emerge in this exhibition, answering the demands of turbulent times.



田村奈穂《フロート》2013-15年 WonderGlass蔵 ©WonderGlass



A-POC ABLE ISSEY MIYAKE 《TYPE-II Tatsuo Miyajima project》2022年 © ISSEY MIYAKE INC. (参考作品)

未来を思い描く力は、いつの時代もきらめきを放つ

本展を構成する
4つのセクション

- ◎ダイアログ: 大地との対話からの始まり
- ◎インサイト: 思索から生まれ出るもの
- ◎ラボラトリー: 100年前と100年後をつなぎ、問う
- ◎リサーチ&メッセージ: 未来を探るつくり手の現在進行形

4 Sections in
the Exhibition

- _Dialogue in Strata
- _Germination from Insight
- _Laboratories Connecting 100 Years Past and 100 Years Ahead
- _Researches and Messages: Visionaries' Logs

悠久の時の流れに
寄り添う

参加アーティスト ※50音順

- _石塚源太 (美術家)
- _井上隆夫 (アーティスト)
- _岩崎貴宏 (アーティスト)
- _A-POC ABLE ISSEY MIYAKE (宮前義之率いるエンジニアリングチーム)
- _GO ON (細尾真孝、八木隆裕、中川周士、松林豊斎、辻 徹、小菅達之)
- _佐野文彦 (建築家・美術家)
- _高橋賢悟 (美術家)
- _TAKT PROJECT (吉泉 聡を代表とするデザインスタジオ)
- _田上真也 (陶芸作家)
- _田村奈穂 (デザイナー)
- _津守秀憲 (ガラス造形作家)
- _中川周士 (木工職人)
- _西中千人 (ガラス造形作家)
- _長谷川寛示 (彫刻家)
- _長谷川 絢 (美術家)
- _林 響太郎 (映像監督・写真家)
- _細尾真孝 (クリエイティブ・ディレクター) + 平川紀道 (アーティスト) + 巴山竜来 (数学者)
- _目 [mé] (荒神明香、南川憲二、増井宏文を中心に構成される現代アートチーム)
- _八木隆裕 (開化堂ディレクター) + 石橋 素・柳澤知明 (ライゾマティクス) + 三田真一 (クリエイティブ・ディレクター)
- _横山隆平 (写真家)



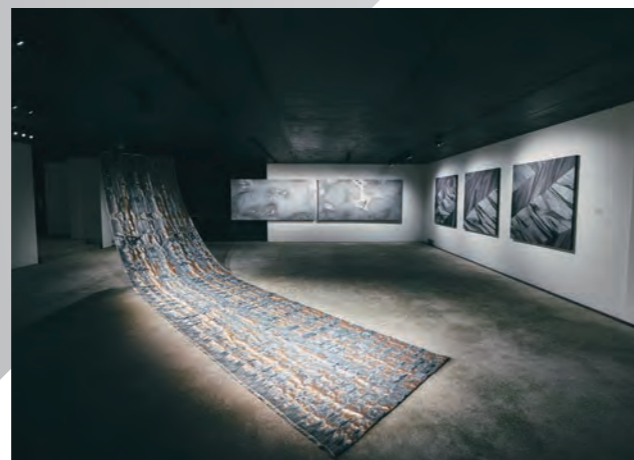
Artists ※In the order of Japanese syllabary

- _Ishizuka Genta, Artist
- _Inoue Takao, Artist
- _Iwasaki Takahiro, Artist
- _A-POC ABLE ISSEY MIYAKE, Team of engineers led by Miyamae Yoshiyuki
- _GO ON, Hosoo Masataka, Yagi Takahiro, Nakagawa Shuji, Matsubayashi Hosai, Tsuji Toru, Kosuga Tatsuyuki
- _Sano Fumihiko, Architect, Artist
- _Takahashi Kengo, Artist
- _TAKT PROJECT, Design studio led by Yoshiizumi Satoshi
- _Tanoue Shinya, Ceramic Artist
- _Tamura Nao, Designer
- _Tsumori Hidenori, Glass Artist
- _Nakagawa Shuji, Wood Craftsman
- _Nishinaka Yukito, Glass Artist
- _Hasegawa Kanji, Sculptor
- _Hasegawa Kei, Artist
- _Hayashi Kyotaro, Film Director, Photographer
- _Hosoo Masataka, Creative Director; Hirakawa Norimichi, Artist; Hayama Tatsuki, Mathematician
- _目 [mé], Art team project with three core members, Kojin Haruka, Minamigawa Kenji, and Masui Hirofumi
- _Yagi Takahiro, Director, Kaikado; Ishibashi Motoi, Yanagisawa Tomoaki, Rhizomatiks; Mita Shinichi, Creative Director
- _Yokoyama Ryuhei, Photographer



高橋賢悟《Re:pray》2021年 井口靖浩蔵
Photo: GION, Courtesy of SEIZAN Gallery

人間とは、生命とは？



細尾真孝+平川紀道+巴山竜来《QUASICRYSTAL-コードによる織物の探求》2020-21年
Photo: KOTARO TANAKA © HOSOO (参考作品)



石塚源太《感触の表裏(壁面) #6》2021年
Photo: Koroda Takeru, Courtesy of ARTCOURT Gallery (参考作品)

「見えていないもの」を思う



田上真也《殻'20-辨》2020年
Photo: No55 Art Space (参考作品)



目 [mé]《アクリルガス T-2M#16》2021年 作家蔵



岩崎貴宏《Out of Disorder (Layer and Folding)》2018年
作家蔵 ©Takahiro Iwasaki, Courtesy of ANOMALY



井上隆夫《Broken Tulip, Apr. 23, 2019, t/18》2019年
Photo: Tatsuki Masaru (参考作品)

地球が育んだ素材を受けとめる

[監修者メッセージ]

人類の活動が地球に大きな影響を及ぼしている時代に入ったとして、ノーベル化学賞を受賞したパウル・クルツェンが提示した「アントロポセン(人新世)」のことはしばしば耳にするようになりました。ひとと自然との関係性を新たな視点で思考することはもちろん、変化のなかで立ちどまり、周囲に改めて目を向ける時間の重要性を強く感じます。本展で紹介するのは、跳躍するかのように全身で世界の動きをとらえる気鋭の作家たちが放つ、現在形のメッセージです。彼らの制作の姿勢をヒントに、思索とともに次を探ってきたひとの創造の力を考えてみたいと思います。

川上典李子(本展監修者)

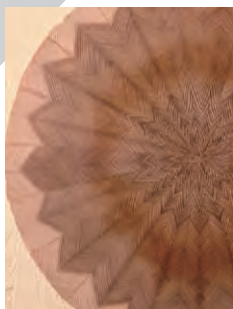
武蔵野美術大学客員教授。デザインを中心としたジャーナリストとして活動するほか、21_21 DESIGN SIGHTのアソシエイトディレクターを務める。パリ装飾美術館「Japon-Japonismes, Objets inspirés, 1867-2018」展(2018年)など国内外の展覧会企画にも携わる。多摩美術大学理事。



TAKT PROJECT 《glow ⇄ grow: globe》2019年 Photo: Takumi Ota (参考作品)



津守秀憲《存在の痕跡》
2018年(参考作品)



中川周士《YOSEGI Tray》(部分)
2022年 作家蔵



GO ON《100年先にある修繕工房》
2022年(参考作品)

【展覧会情報】

会場: 京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ
〒606-8344 京都市左京区岡崎門勝寺町124
開館時間: 10:00—18:00 (入場は閉館の30分前まで)
休館日: 月曜日(祝日の場合は開館)
観覧料(税込): 一般1,800円(1,600円) 大学・専門学校生1,500円(1,300円)
高校・中学生1,100円(900円) 小学生600円(400円) 未就学児無料
※()内は前売、20名以上の団体料金 ※京都市内に在住・通学の小中学生は無料
※障害者手帳等をご提示の方は本人及び介護者1名無料
(学生証、障害者手帳等確認できるものをご持参ください)
主催: 京都市、京都新聞、日本経済新聞社
企画: 京都市京セラ美術館、川上典李子、米山佳子
監修: 川上典李子
展示デザイン: 佐野文彦(Fumihiko Sano Studio)、
空間演出: 遠藤 豊(LUFTZUG)
グラフィックデザイン: 野間真吾(NOMA Inc.)
協賛: 株式会社マツシマホールディングス、
NISSHA株式会社、一般財団法人NISSHA財団

【Exhibition Information】

Venue: Kyoto City KYOCERA Museum of Art Higashiyama Cube
Opening Hours: 10:00—18:00 (Last admission: 17:30)
Museum closed on Mondays, except public holidays.
Admission: Adult ¥1,800 (Advance/Group ¥1,600)
University student ¥1,500 (Advance/Group ¥1,300)
Junior high and high school student ¥1,100 (Advance/Group ¥900)
Elementary school student ¥600 (Advance/Group ¥400)
Organized by City of Kyoto, The Kyoto Shimbun, Nikkei Inc.
Curated by Kyoto City KYOCERA Museum of Art,
Kawakami Noriko, Yoneyama Yoshiko
Supervised by Kawakami Noriko
Exhibition Design by Sano Fumihiko (Fumihiko Sano Studio)
with Endo Yutaka (LUFTZUG)
Graphic Design by Noma Shingo (NOMA Inc.)
Sponsors: MATSUSHIMA HOLDINGS CO., LTD.,
Nissha Co., Ltd., NISSHA FOUNDATION



【関連プログラム】

アフターコロナ時代に問う、「跳躍するつくり手たち展」
日時: 2023年3月13日(月) 18:30—19:45
講師: 川上典李子(本展監修者)
会場: 佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)
京都市北区紫野北花ノ坊町96
佛教大学紫野キャンパス15号館
京都市バス「千本北大路」下車 西へ徒歩3分
定員: 対面50人(オンライン200人) ※要事前申込み
料金: 2,000円(税込) ※佛教大学O.L.C.正会員は1,000円(税込)
申込: 佛教大学オープンラーニングセンターのウェブサイト
(<https://www.bukkyo-u.ac.jp/olc/>) より申込み。
お問い合わせ: 佛教大学O.L.C.
075-366-5511 (平日10:00—17:00)
※申込みには佛教大学O.L.C.の会員登録が必要です。

【お問い合わせ】 TEL. 075-771-4334

本展と当館公式オンラインチケット
e-tixの詳細はこちら
美術館公式オンラインチケット、
チケットぴあ(Pコード: 686-291)、
ローソンチケット(Lコード: 55903)ほか
主要プレイガイドなどで前売券発売中!



※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更することがあります。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【交通案内】

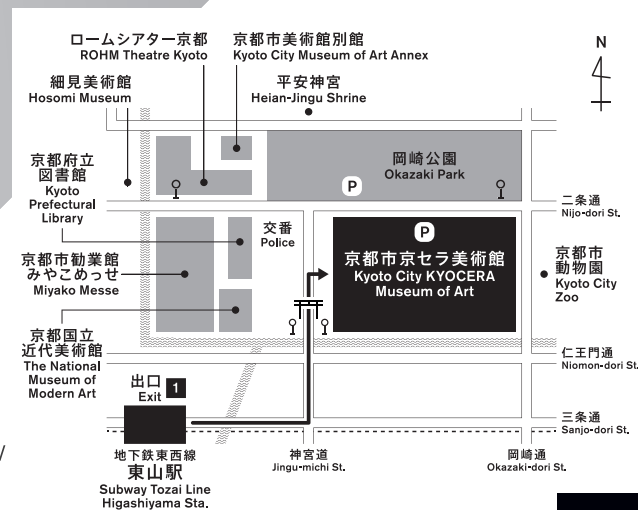
電車: 地下鉄東西線「東山駅」から
徒歩約8分、京阪電車「三条駅」から
徒歩約16分
市バス: 「岡崎公園 美術館・平安神宮前」
下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・
みやこめッセ前」下車すぐ。

【Directions】

By subway/Keihan Railway:
8 minutes walk from Higashiyama Station of
Kyoto City Subway Tozai Line.
16 minutes walk from Sanjo Station
of Keihan Railway.
By bus: 1 minute walk from Okazaki Koen/
Bijutsukan, Heian Jingu-mae.
1 minute walk from Okazaki Koen/
ROHM Theatre Kyoto, Miyakomesse-mae.

【Inquiries】

TEL. 075-771-4334
The above may be subject to change depending on conditions
related to COVID-19. Please visit the Museum website for
the latest information.



本展では、ギャラリートークなど、さまざまな関連プログラム
をご用意しています。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください!

kyotocitykyoceramuseum @2023_Choayku
@kyotocitykyoceramuseum

